

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	神奈川大学	中国語学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	南京大学 (中国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	海外教育学院		
報告書提出日	2019年3月13日		
留学予定期間	2019年2月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 0 (円) /合計

航空券代： 124,920 (円) /合計

ビザ申請関連費： 8,400 (円) /合計

その他（海外保険料）： 133,220 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

10月 合格発表

10月後半 大学への出願

12月後半 入学許可書が届く

1月前半 VISA申請と予防接種(約9万円)

1.2. 渡航について

成田空港から直行便で南京空港まで。南京空港から寮まで送迎はなく、タクシーで向かった。タクシーは大体1時間強、400元(6500円)程度。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

パスポートと入学許可書を提示し、その場で半年分の家賃3000元、敷金・礼金のようなもの600元と鍵代50元を現金で支払う。それで寮の手続きは完了。

しかし、私はその時2500元ほどしかもっていなかったため、家賃の3000元は翌週現金で支払った。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

3/8 在留許可を申請するために、健康診断を受けた。検査料は480元。

3/13 検査結果を受け取り、そのまま公安局へ行き在留許可申請をしようとしたが、申請書の申請在留期限を南京大学側が間違えたため、受理されずに終了。

3/14 南京大学の留学担当者に訂正した新しい在留許可申請書を受け取り公安局へ向かい、問題なく受理された。4/4 に許可書を受け取れる予定でいる。申請料は 400 元。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

2/22 所属する海外教育学院の事務所にて、学生登録をして学生カードと学生証をもらう。同時に大学への保険料の支払い（1年間 800 元）と在留許可申請時に必要な書類を受け取る。SIM カードも買えた。また、中国語を学習するクラスは HSK の取得級によって振り分けられ、学生登録をする際にどのクラスになるか告げられる。しかしこのクラス分けはあくまで目安であるため、授業に参加してみても最終的には自身でどのクラスを履修するかを決めることができる。

2/25 オリエンテーションにおいて、履修登録の仕方や生活する上での注意事項を説明される。

2/26 授業開始

3/8 歓迎会が開かれ、歌や楽器を披露してもらったり、ゲームを楽しんだ。ホールのような場所で開催された。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

卒業後は来日する中国人観光客を相手にツアーガイドする職に就きたい。その為にも現地で生きた中国語を学ぶことが一番だと考えた。夏休み明けに HSK5 級の取得を目指し、留学中に HSK6 級にチャレンジできるレベルに到達しようと考えている。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

読解の授業が多いが、どうやって自然な日本語に訳すことができるかを考える時間が楽しく感じるようになった。単語や文法の訳は英語で説明されるため、自身で日本語に当てはめなければならないので、自身でどれだけ突き詰められるかが問われている気がした。

スピーキングの授業が極端に少なく、自らが会話しようと思わないと上達しないことが改めて感じられる。授業と寮の往復だけでなく、外に出て日々広い視野で中国語を学ぶことが大切であると考えている。

3.3. 今月の学習・研修目標

本科生が受ける授業も履修しているが、リスニング力が圧倒的に足りていないので、聞き取れないことが多いが、そのままにせずボイスレコーダーを使用するなどして理解を深めようと考えている。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	大学生心理健康学(16:10-18:00)
火	総合汉语(一)(10:10-12:00) 方言与文化研究(14:00-15:50)
水	総合汉语(一)(10:10-12:00) 中国现当代文学作品选读(14:00-15:50) 香港历史专题(16:10-18:00)

木	総合汉语(一) (10:10-12:00)
金	総合汉语(一) (10:10-12:00) 汉语读写(中级)汉字入门 (14:00-15:50) 汉语听说(中级) (16:10-18:00)
土	
日	

4.2. 授業について

総合汉语(一) (50分/1コマ 8コマ/週)

授業概要: 中国語の教科書を使用する。主に読解を行い、課ごとの登場人物の状況は心情を文から読み解く。

授業の特徴: 留学生対象の授業なので、先生は学生が聞き取りやすいように配慮してくれているので聞き取りに問題はない。毎週水曜日に聞き取りテストがある。新出単語を使つての作文の宿題が不定期である。

評価方法: 出席 10% 授業態度 15% 課題 15% 中間テスト 20% 期末テスト 40%

汉语读写(中级)汉字入门 (50分/1コマ 2コマ/週)

授業概要: 漢字の構造や作文などの漢字の基本的な概念を学習。中国の漢字の書き順やトメ、ハライなど漢字の書き方の言い回しも学び、漢字を分析する。更に、漢字と中国文化の関わりについても考える。

授業の特徴: 発音に厳しい先生。授業への参加度重視。

評価方法: 出席 20% 授業態度 20% 課題 20% 中間テスト 15% 期末テスト 25%

汉语听说(中级) (50分/1コマ 2コマ/週)

授業概要: 教科書は使用せず、毎回練習問題のプリントが配布される。

授業の特徴: :最初の 15 分程度の時間を使って数人が決められたテーマについてプレゼンテーションを中国語で行う。

評価方法: 出席 10% 授業態度 20% 課題 10% 中間テスト 20% 期末テスト 40%

大学生心理健康学 (本科生と同じ授業)

授業概要: 大学生の実際の生活と密接に関係する心理的な課題を考える。心理とはなにか、健康とはなにかを学ぶ。

授業の特徴: 先生がひたすら口頭で説明しているのを聞いている。

評価方法: レポートと期末テスト

方言与文化研究 (文学部の授業)

授業概要: 言語学、方言学、文化学理論を学び、方言の地理学・史学・文献学・文字学・民俗学などの多くの研究方法を組み合わせ、中国語と方言の分布、歴史的変化、方言と文化の関係などの問題を形成する。中国語のさまざまな方言の音声、語彙、文法を学ぶ。

授業の特徴: 教師はある章の主要な内容に対して簡単に提示するか、あるいはある方言の概況について簡単に紹介し、学生に関連する経典の文献を読み、同時に啓発性の指導を行う。プレゼンテーションを行い、任課の教師が十分に参加してまとめ、特定の議論に応じて検討する。

評価方法: 期末テスト

*** 中国现当代文学作品选读* (文学院の授業)**

授業概要: 中国の現代文学、台湾、海外文学の重要な作家、重要な作品は、主に魯迅、周作人、徐志摩、白先勇、余光中、ロフ、北島、道城、海子、商人、陳忠実、韓国少功などの代表作品を含む。

授業の特徴: 特になし

評価方法: 期末テスト

*** 香港历史专题***

授業概要: 香港社会の変化や香港と中国大陸との関係を考える。

授業の特徴: 履修している科目の中でも特に話すスピードが速いと感じる。今は3、4割ほどしか理解できていないので、ボイスレコーダーが必須アイテムとなっている。

評価方法: 期末テスト

4.3. 予習・復習・自習について

*** 総合汉语(一)***

予習・復習: 特に予習の指定はされていない。毎回の授業で前回の復習をする。

自習: ノートに翻訳や文法の説明や例文を書く。

*** 汉语读写(中級)汉字入门***

予習・復習: 特に指定されていない。

自習: 授業で取ったメモの整理。

*** 汉语听说(中級)***

予習・復習: 特に指定されていない。

自習: まだ授業の概要がまだわからず、自習できていない。授業はリスニングが主なので、ボイスレコーダーを活用しようと思う。

*** 大学生心理健康学***

予習・復習: 特に指定されていない。

自習: 聞き取れない部分が多いので、シラバスにある授業計画表を見てその日の授業内容を予想して予習するようにしている。

*** 方言与文化研究***

予習・復習: 特に指定されていない。

自習: 聞き取れない部分が多いので、シラバスにある授業計画表を見てその日の授業内容を予想して予習するようにしている。

*** 中国现当代文学作品选读***

予習・復習: 特に指定されていない。

自習: 聞き取れない部分が多いので、シラバスにある授業計画表を見てその日の授業内容を予想して予習するようにしている。

*** 香港历史专题 ***

予習・復習:特に指定されていない。

自習:聞き取れない部分が多いので、シラバスにある授業計画表を見てその日の授業内容を予想して予習するようにしている。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	寮
寮の環境自体はすごく良く、リラックスできる空間。ルームメイトは韓国人で2つ歳上。 食事は、学食や大学内のスーパーを利用している。デリバリーが充実していて、留学生寮の1階まで届けてくれるので、よくデリバリーを利用する。デリバリーは中華料理や日系、韓国系の料理など様々なお店の料理を注文できるので、私はよくすき家を頼んでしまう。	

5.2. 課外活動について

休日は大学の最寄りの地下鉄に乗ってショッピングモールやご飯を食べに行く。 大学内のジムやプールに行ってリフレッシュするときもある。 サークル活動は交友関係を広くでき、中国語を大きく上達させることができるため、入りたいと考えており、現在検討中である。 南京に来てまだ1ヶ月も経たないので、泊りがけの旅行はまだ考えていないが、これから南京市内の博物館や美術館に行こうと思っている。また南京大虐殺記念館にも2週間後に行く予定を立てている。

5.3. 現在までの感想

思いのほか困ることがない。欲しいものはほとんど買うことができる。中国について勉強していたからか、カルチャーショックもない。強いて言うなら、シャワーしかないので、お湯に浸かりたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (4月)

所属	外国語学部	中国語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	南京大学 (中国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	海外教育学院		
報告書提出日	2019年5月19日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

卒業後は来日する中国人観光客を相手にガイドする職に就きたい。その為にも現地で生きた中国語を学ぶことが一番だと考えた。夏休み明けに HSK5 級の取得を目指し、留学中に HSK6 級にチャレンジできるレベルに到達しようと考えている。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

4 月は、留学生用の授業は中間テストが行われ、改めてリスニング・スピーキングがリーディング・作文と比べてレベルが低いことを実感した。

1.3. 今月の学習・研修目標

6 月は期末テストがあるので、今月は復習を徹底することを心がける。また、本科の授業で日本の文化について紹介するプレゼンテーションがあるので、今はそのことで頭がいっぱいだ。中国人のお友達に、練習に付き合ってもらおうことにする。この授業で日本人なのは私のみなので、少しばかり日本代表の気分である。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	
火	
水	総合汉语 (時間 10:10-12:00)
木	
金	
土	
日	

2.2. 授業について

総合汉语(一) (50分/1コマ 8コマ/週)

授業概要:中国語の教科書を使用する。主に読解を行い、課ごとの登場人物の状況は心情を文から読み解く。

授業の特徴:留学生対象の授業なので、先生は学生が聞き取りやすいように配慮してくれているため聞き取りに問題はない。1つの課が終わると、復習として聞き取りテストがある。新出単語を使つての作文の宿題が不定期である。

評価方法:出席 10% 授業態度 15% 課題 15% 中間テスト 20% 期末テスト 40%

汉语读写(中級)汉字入门 (50分/1コマ 2コマ/週)

授業概要:漢字の構造や作文などの漢字の基本的な概念を学習。中国の漢字の書き順やトメ、ハライなど漢字の書き方の言い回しも学び、漢字を分析する。更に、漢字と中国文化の関わりについても考える。

授業の特徴:発音に厳しい先生。授業への参加度重視。

評価方法:出席 20% 授業態度 20% 課題 20% 中間テスト 15% 期末テスト 25%

汉语听说(中級) (50分/1コマ 2コマ/週)

授業概要:教科書は使用せず、毎回練習問題のプリントが配布される。

授業の特徴:最初の15分程度の時間を使って数人が決められたテーマについてプレゼンテーションを中国語で行う。

評価方法:出席 10% 授業態度 20% 課題 10% 中間テスト 20% 期末テスト 40%

大学生心理健康学 (本科生と同じ授業)

授業概要:大学生の実際の生活と密接に関係する心理的な課題を考える。心理とはなにか、健康とはなにかを学ぶ。

授業の特徴:パワーポイントと先生の口頭での説明

評価方法:レポートと期末テスト

方言与文化研究 (文学部の授業)

授業概要:言語学、方言学、文化学理論を学び、方言の地理学・史学・文献学・文字学・民俗学などの多くの研究方法を組み合わせ、中国語と方言の分布、歴史的変化、方言と文化の関係などの問題を形成する。中国語のさまざまな方言の音声、語彙、文法を学ぶ。

授業の特徴:教師はある章の主要な内容に対して簡単に提示するか、あるいはある方言の概況について簡単に紹介し、学生に関連する経典の文献を読み、同時に啓発性の指導を行う。プレゼンテーションを行い、任課の教師が参加してまとめ、特定の議論に応じて検討する。パワーポイントと先生の口頭での説明が中心。

評価方法:期末テスト

2.3. 予習・復習・自習について

総合汉语(一)

予習・復習:特に予習の指定はされていない。毎回の授業で前回の復習をする。

自習:ノートに翻訳や単語・文法の説明や例文を書く。

*** 汉语读写(中级) 汉字入门 ***

予習・復習:特に指定されていない。

自習:授業で取ったメモの整理。

*** 汉语听说(中级) ***

予習・復習:特に指定されていない。

自習:新しく学んだ単語の意味をノートにまとめる。

*** 大学生心理健康学 ***

予習・復習:特に指定されていない。

自習:聞き取れない部分が多いので、シラバスにある授業計画表を見てその日の授業内容を予想して予習するようにしている。授業中のパワーポイントは、その都度写真をとってノートにまとめている。

*** 方言与文化研究 ***

予習・復習:特に指定されていない。

自習:聞き取れない部分が多いので、シラバスにある授業計画表を見てその日の授業内容を予想して予習するようにしている。授業中に取ったメモやパワーポイントをノートにまとめる。

2.4. 語学力について

留学したての頃よりも確実にリスニング力とスピーキング力は上がっていると思うが、読解と作文に比べたらまだまだだと感じる。あとは、中国語で学んだことを中国語でもう一度説明できる力を身につけたい。これは、留学生の授業ではなく、本科の授業のテスト時に必要な能力なので、語彙力を更にする努力をする。理解しているけれど中国語で説明できないという状況が多々あるので、もったいなく思う。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※	学生寮
とくに前回の報告書提出時と変わった点はないが、現時点でもうすでに夏のような気候なので、体調管理を徹底しなければと感じている。特に南京の夏は40°まで気温が上がるようなので、夏バテには十分気をつけたい。	

3.2. 課外活動について

4月10日～15日に交換留学生対象の旅行があり、山西省の太原市に行った。参加費は往復の交通費のみだったのでとてもおトクに旅行ができた。都市部以外に行く機会がないと思っていたので、今回の旅行に参加したことで、中国の少数民族の建築物や山西省の博物館など、南京では出来ない体験をすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。

南京大学では毎週末、様々なイベントが企画・運営されており、私も何度か観に行ったり参加したりしたが、中でも一番面白かったのは、アニメサークルの公演だ。日本のアニメの主題歌をバンドが演

奏したり、演劇をやったりと、日本のアニメがこんなにも中国人に受け入れられているということを経験実感することができた。

3.3. 現在までの感想

そこまで困ったこともなく、毎日楽しく生活している。もうすぐ期末テストなので、気を引き締めて日々の復習を大切に、楽しく勉強し、楽しく留学生活を送れるようにしたい。

以上

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書 (9月)

所属	神奈川大学	中国語	学科 専攻
派遣先大学 (国)	南京大学 (中国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	海外教育学院		
報告書提出日	2019年9月19日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

卒業後は来日する中国人観光客を相手にガイドする職に就きたい。その為にも現地で生きた中国語を学ぶことが一番だと考えた。10月にHSK5級を受験する予定で、留学中にHSK6級にチャレンジできるレベルに到達しようと考えている。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

前の学期の反省点は、会話の量が少なかった気がする点である。今学期はもっと中国人と会話しなく、積極的に中国人の友達と会おうと思う。

1.3. 今月の学習・研修目標

総合漢語は月曜日以外毎日あり、少人数なので、毎回の授業で発言する回数を増やし、中国語を喋る機会を自分から作っていくようにする。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	HSK 六級阅读(14:00-15:50) HSK 六級听力(16:10-18:00)
火	総合漢語(10:10-12:00) 近代中日関係(18:30-20:20)
水	総合漢語(10:10-12:00)
木	総合漢語(10:10-12:00)
金	総合漢語(10:10-12:00) 新媒体阅读和应用(16:10-18:00)
土	
日	

2.2. 授業について

*総合汉语(高上) [火水木金 10:10-12:00]

中国語の聞き取り、話す、読む、書くという技能を全面的に高めることを目指す。授業の主な内容と教学目标は、1. 高次の語彙とフレーズを約 1000 個勉強する。2. より複雑な中国語文法を講義する。3. 異なる語体に対する中国語の読解力を高める。4. 中国語の作文能力を高める。5. 本文を通して中国の歴史、文化、社会を勉強する。以上の目標を達成するために、授業では語彙学習、文法講義、本文理解、段落作文練習及び授業討論、プレゼンに重点を置く。毎週一課を終わらせ、授業報告、補足資料を読む予定。一課ごとに小テストを行い、予習、文法文作成、授業の口語報告及び書面報告を含む。

*新媒体阅读和应用 [金 16:10-18:00]

主に新メディアの紹介と中国社会の現状紹介の二つの部分に分けられる。新メディアの紹介部分では、中国で一番よく使われている新しいメディア社交ソフトを選ぶ。例えば、WeChat、Weibo、TikTok、配音秀などである。WeChat の公众号、Weibo の話題、抖音の具体的な使い方を紹介して、学生にこれらの SNS を使わせる。具体的な事柄や話題について、学生に自分の意見を発表させて、討論する。授業後は勉強した内容に基づいて、学生に SNS 内で自分の興味のある内容を検索させる。中国の社会現状紹介の部分では、テーマに分かれて、中国人の日常生活、娯楽、教育、食事でのマナー、無形文化遺産を紹介する。

*HSK 六級阅读 [月 14:00-15:50]

時間トレーニング、テーマ解説、模擬テストなどを通じて HSK 六級読解の部分についての一般的な問題解決の考え方、言語文化の知識点を紹介する。パワーポイントなどを使い学習指導、要点説明、作業解説を行う。

*HSK 六級听力 [月 16:10-18:00]

時間トレーニング、テーマ解説、模擬テストなどを通じて HSK 六級リスニングの部分について授業を行う。リスニング内容をまとめ、対応する常用単語や、表現方式をまとめ、設問の仕方とその解答の一般的な解答方法を解説する。会話の話題、設問の方式をまとめ、文化背景知識を紹介する。出題傾向や、解題の技巧を説明する。パワーポイントなどを使い学習指導、要点説明、問題解説を行う。

*近代中日关系 [火 18:30-20:20]

近代中日関係を講義する前に、まず古代から近代にかけての日中関係を簡単に振り返る。近代については、日清戦争の日中関係に対する重要な影響を強調し、先のいくつかのテーマは日清戦争前の東アジア情勢の変化をめぐって、中日両国は戦前の改革、日清戦争の経過とその影響、関係人物の戦争中の役割などを展開する。日清戦争と密接な関係にある釣魚島問題の歴史的な起源、釣魚島問題の国際法分析なども述べる。その後、日本と北洋軍閥の関係、第一次世界大戦前後及び 1920 年代の中日関係、九一八事変、七七七事変、抗日戦争や太平洋戦争と中日関係、百団大戦、中国抗戦の第二次世界大戦における役割と歴史的地位などを述べる。日本に関する歴史上の人物と事柄についてや日本の近代史の背景を紹介する。

2.3. 予習・復習・自習について

*総合汉语(高上)

予習・復習:授業のペースが速いので、予習復習は必須。

自習:ノート作り

***新媒体阅读和应用**

予習・復習・自習:特になし

***HSK 六級阅读**

予習:事前に配布された練習問題を解く

復習:特になし

自習:特になし

***HSK 六級听力**

予習:教科書の練習問題を解く

復習:特になし

自習:特になし

***近代中日关系**

予習・復習・自習:特になし

2.4. 語学力について

前の学期の自身と比べると、リスニング力が上がり、耳に入ってくる中国語を理解するスピードが上がった。

総合汉语のクラスのほとんどの学生が私よりも中国語レベルが高く、前の学期でも課題であったスピーキングを更にレベルアップすべく、日々の授業で積極的に発言して中国語を使っていきたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居*	学生寮
-----	-----

前回から特に変化はない。

3.2. 課外活動について

夏休みは中国内を旅行し、とても充実した日々を過ごせた。

土日は、友達とご飯を食べに行ったり、ジムに行ってリフレッシュしたりしている。

もうすぐ国慶節の連休があるので、できれば旅行したいと考えている。

3.3. 現在までの感想

南京の生活も残りあと半年になるので、悔いのない留学生活にしたい。

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	中国語学科	3	年次
派遣先大学 (国)	南京大学 (中国)				
所属プログラム・ 学部・研究科	海外教育学院	履修言語	中国語		
留学期間	2019年2月～2020年1月				
報告書提出日	2020年2月14日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録までの過程
Spring Semester	2月26日 ～6月14日 (16週)	6月10日 ～6月14日	総合漢語は HSK の取得級ごとにレベル分けされている。そのほかは自身が興味のある科目を選択し、履修登録はオンラインで行った。最初の1週間は履修登録を削除できる。
Fall Semester	9月8日 ～1月14日 (16週)	12月31日 ～1月14日	総合漢語は HSK の取得級ごとにレベル分けされている。そのほかは自身が興味のある科目を選択し、履修登録はオンラインで行った。最初の1週間は履修登録を削除できる。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Spring Semester	総合漢語(一)	102.4 時間	授業が火曜日～金曜日で 100 分。授業は主に教科書の内容に沿って行われる。PPT も使用。中間試験・期末試験の前に1週間の復習期間があり、授業中に試験範囲の復習をし、その場で不明な点を解決した。毎課終わるごとにリスニングテストがあった。
		1.6 (時間/回) ×4(回/週) ×16(週)	
Spring	汉语阅读(中)	25.6 時間	授業が金曜日で 100 分。授業は主に先生が PPT を使用し進

Semester	級) 漢字入門	1.6(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	行され、たまにプリントも配布された。内容は、漢字や衣類、装飾、食の歴史や文化を学んだ。中間試験・期末試験ともに授業で学んだことが主に出題され、その他に授業に出てきた新出単語や作文の問題も出題された。
Spring Semester	汉语听说(中级)	25.6 時間	授業が金曜日で 100 分。プリント授業で前半の授業はリスニング、後半はスピーキングだった。中間試験はリスニング、期末試験はリスニングとスピーキングだった。リスニングは HSK の試験の中から抽出された。
		1.6(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	
Spring Semester	大学生心理健 康学	25.6 時間	授業が月曜日で 100 分。授業は PPT を使用。中間試験はなく、期末試験はこれまで授業で先生が話した内容について、自身の経験を踏まえて論述するといった内容だった。
		1.6(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	
Spring Semester	方言与文化研 究	25.6 時間	授業が火曜日で 100 分。授業は PPT を使用。期末試験は学生 1 人一回ずつプレゼンテーションを行い、その原稿と PPT の内容を提出した。
		1.6(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	
Fall Semester	综合汉语(三)	102.4 時間	授業が火曜日～金曜日で 100 分。授業は主に教科書の内容に沿って行われる。PPT も使用。中間試験はなく、期末試験の内容は教科書内の練習問題や HSK の問題から出題された。学生は、毎課終わるごとにその課の内容に沿ったプレゼンテーションを行う(約 10 分間)。
		1.6(時間/回) ×4(回/週) ×16(週)	
Fall Semester	新媒体阅读与 应用	25.6 時間	授業が金曜日で 100 分。授業は PPT を使用して進められ、毎授業でプリントが配布された。中間試験・期末試験は記述式試験などではなく、テーマに沿った討論や自身でビデオを作成するなど、学生が創作したものを発表し、それが評価の対象になった。
		1.6(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	
Fall Semester	HSK6 级听力	25.6 時間	授業が月曜日で 100 分。授業は教科書の内容に沿って進められた。中間試験・期末試験ともに HSK6 級の過去問から抜粋されたものだった。
		1.6(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	
Fall Semester	HSK6 级阅读	25.6 時間	授業が月曜日で 100 分。授業では過去問プリントが配布され、事前に予習し授業中に答え合わせと先生が解説を行なった。中間試験・期末試験ともに HSK6 級の過去問から抜粋されたものだった。
		1.6(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

予習は特に指定されていなかったので、教科書を使用する科目は、ノートに教科書の本文を写してその際にわからない単語を調べたりした。

復習はノートに新出単語の意味や例文をまとめなどした。

1.4. 語学力について

留学前は HSK4 級レベルだったが、半年後には HSK5 級を合格し、HSK6 級にチャレンジできるレベルになった。留学中はなるべく外に出て現地の中国語に触れる機会を増やした。また、言語交換をし、中国人学生と中国語と日本語の教え合いをし、母語と中国語どちらも知識を向上させることができた。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

中国に行ったことで、リスニングとスピーキングに慣れることができた。春学期のよりも秋学期のほうが授業中に聞き取れるワードが多くなっていることを実感できた。

一番わかりやすく結果が出たのは HSK の試験だった。5 級に合格したが、個人的に 5 級が難易度が高いとは感じなかった。リスニングとスピーキングに加え、読解力も向上したと思えた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

HSK6 級の合格を目指すという目標を留学中に達成できなかったことが残念だった。新学期が始まる前に挑戦する予定だ。

今振り返ってみると、もっと積極的に中国人の学生と交流することもできたのではないかと思うようになった。言語交換をしている中国人学生とは週に一度ほぼ会っていたが、日本に興味を持っているという学生も多く、日本語学科もあるので、日本について学びたい学生は意外と多いという印象を受けたので、言語交換をしたい学生は探しやすいと思った。わたしが言語交換していた相手は日本語学科ではないが、日本に興味があるので自身で日本語を勉強している学生だった。

机の上での勉強も大切だが、学生とたくさん交流することで、話すことに慣れていく実感できることが楽しいと感じられると思うので、現地での交流を大切にしてほしい。

2.3. 留学生活で得られたもの

慣れない土地で生活し、なおかつ外国語で授業に参加するという経験を経て感じたことは、精神面の成長だと思った。わたしは中国で言うと後学期からの入学で、南京大学は日本人が少ない傾向があったので、2月から入ってきた日本人学生は私1人だった。そのため、ビザ申請やビザ申請に必要な健康診断、銀行開設などは1人で行うことが多かったのも、知らない土地に1人で行くことや問題が発生したときに自身で対処する力なども身についた。また、南京大学で1年間生活をするという覚悟を持って留学したことで、現地の地理や食文化にもすぐに慣れることができた。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

生活面でのアドバイスとしては、日用品や衣類、文房具は現地の物でも特に問題はないと感じるほど品質も良いので、留学時に必要なパソコンなどの電気製品以外は現地で調達すれば良いと思う。また、水質はあまりよくないので、シャワー用と洗面台の蛇口用の浄水器は持参して行けばよかったと感じた。中国はネット通販がとても充実しているので、わざわざ日用品や衣類を大量に持って行かなくてもネットですぐに揃えることができるので、荷物は必要最低限のもので良いと思う。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月14日

所 属	外国語学部 () 研究科	中国語学科・専攻	3 年次
派遣先大学	南京大学		12 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(韓国人のルームメイトと二人部屋)
3	入居時手続き	(フロントで半年分の家賃と鍵代を支払い、鍵を受け取る)
4	費用 (月額)	3500 (中国元) (食費含む/月)
5	支払方法	QR コード決済
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (自動販売機)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(寮から2分程度のところに大きめのスーパーがある(校内。))
9	アクセス	(外国人寮は校内の端にあり、駅に行くには徒歩 40 分ほどかかるが校内バスが通っているのでそれを利用すれば 10 分程度でアクセス可能。 教室へも同様。)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(洗濯洗剤は日本製が良いと思う。)
11	引越された方は引越 し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
---	-------------	------

2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(大学内にある携帯ショップでSIMを購入。)
4	自宅のインターネット接続環境	有線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	550 (中国元) /月
2	食費	1400 (中国元) /月
3	交通費	80 (中国元) /月
4	通信費	110 (中国元) /月
5	娯楽費	1000 (中国元) /月
6	図書費	0 (中国元) /合計
7	学用品 (教科書など)	300 (中国元) /合計
8	被服費	5000 (中国元) /合計
9	医療費	0 (中国元) /合計
10	雑費・その他	1000 (中国元) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	650 (中国元) /合計
12	ビザ申請関連費	8400 (日本円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	124920 (日本円) /往復
14	その他	213320 (日本円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	1400000 (日本円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 10000 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名:) <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	パスポートと入学許可証があればすぐに開設できた。
19	お金に関するアドバイス	留学前のビザ申請時や航空券、海外保険の出費が大きいので事前に十分貯金しておくことを勧める。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	D19 (11 か月分で 133220 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	特になし

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	文房具、日用品、衣類
2	現地で購入したもの
	文房具、日用品、衣類
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
	特になし

VI. 留学先で困ったこと

特になし

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

日用品は意外と現地にたくさん売っているので、現地で買うべき。